

平成 15 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社サーラコーポレーション  
代表者名 取締役社長 神 野 吾 郎  
(コード番号 2 7 3 4 東証・名証第 1 部)  
問合せ先 IR推進室長 望 月 志 郎  
(TEL . 0 5 3 2 - 3 3 - 8 8 7 7)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 1 月 28 日の決算発表時に公表した平成 15 年 11 月期（平成 14 年 12 月 1 日 ～ 平成 15 年 11 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

- 1 . 平成 15 年 11 月期連結業績予想数値の修正（平成 14 年 12 月 1 日 ～ 平成 15 年 11 月 30 日）  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	132,482	3,020	897
今 回 修 正 予 想 ( B )	128,246	1,324	63
増 減 額 ( B - A )	4,236	1,695	834
増 減 率 ( % )	3.2	56.1	92.9
(ご参考) 前期実績(平成 14 年 11 月期)	98,602	1,349	102

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 1 円 62 銭

(注) 当社は平成 14 年 5 月 1 日に設立され、前期(平成 14 年 11 月期)が第 1 期で、7 カ月間の  
変則決算となっております。

- 2 . 修正の理由

平成 15 年 5 月中間期の業績は、社会インフラ整備事業、ファシリティ・マネジメント事業、ホスピタリティ事業などの不振により、平成 15 年 1 月 28 日に公表した業績予想との差異が、売上高で 2,667 百万円、経常利益で 631 百万円、中間純利益で 196 百万円となりました。

下半期の見通しにつきましては、主力商品である LP ガス・石油製品の仕入価格は、上半期に引き続き、当初予想を上回る水準で推移すると予想されます。また、とりわけ上半期に低調であった社会インフラ整備事業、ファシリティ・マネジメント事業については、市況の低迷による工事物件の減少が続き、採算性が悪化しております。このような状況に対してコスト削減を軸とする取り組みを行っておりますが、当期中はその効果が軽微であるため、上記のとおり業績予想の修正を行うものであります。

以 上